

平成30年6月21日

保険薬局 各位

一般社団法人青森県薬剤師会

会長 木村 隆次

健康サポート薬局「技能習得型」研修会のご案内

会員の皆様には、平素より当会の会務に対しご協力をいただき御礼申し上げます。

さて、「健康サポート薬局」制度が厚生労働省告示第29号により、平成28年4月1日より施行されました。「健康サポート薬局」は医薬品医療機器等法（薬機法）に位置づけられ、薬局の業務体制や設備において一定の基準（厚生労働省告示）に適合している薬局は保健所設置者に届出ができます。

この基準の一つに「相談対応や関係機関への紹介に関する研修を終了した薬剤師が常駐」とされています。「健康サポート薬局に係る研修実施要綱について」の通知では、eラーニングによる知識習得型研修22時間+技能習得型研修8時間となっています。

このうち技能習得型研修8時間を平成30年7月22日(日)に下記要項により開催いたします。

この研修は、国が定める研修実施機関（公社）日本薬剤師会の研修協力機関として（一社）青森県薬剤師会が行うものです。

なお、日本薬剤師会で実施している知識習得型研修のeラーニングにつきましては随時申込みにより受講できますので、まだ受講されていない方は、技能習得型研修の受講前に受講を済ませておくことをお勧めします。

健康サポート薬局「技能習得型」研修会開催要項

日時：平成30年7月22日（日）9時～18時20分（昼食は各自ご用意ください）

会場：青森県立保健大学 教育研究A棟 A112 中講義室
青森市浜館字間瀬58-1

受講料：第1部（研修会A）『健康サポート薬局のための多職種連携研修会』

1万円（ただし、青森県薬剤師会会員は会より半額助成のため5千円）

第2部（研修会B）『健康サポートのための薬剤師の対応研修会』

1万円（ただし、青森県薬剤師会会員は会より半額助成のため5千円）

平成30年度
健康サポート薬局技能習得型研修会参加申込書

平成30年 月 日

私は健康サポート薬局の基準について理解の上、技能習得型研修の受講を申し込みます。

氏名	
薬剤師番号	
薬局名	
電話番号	
FAX番号	

該当する項目を○で囲み下線部は数字を記載してください。

① 受講を希望する講習 A講習のみ B講習のみ AB両方
② かかりつけ薬剤師の東北厚生局への届出 あり なし
③ 過去1年間における在宅の実績 あり なし
④ 健康サポート薬局の届出について 既に届出済 届出予定 届出の予定はない 貴薬局の届け出予定時期 平成_____年_____月頃
⑤ 知識習得型eラーニングの受講について 受講済み これから受講予定
⑥ 研修受講希望薬剤師の実務経験 _____年 (常駐する薬剤師の要件として5年以上の薬局での実務経験が必要です。)

申込み締め切り 平成30年7月9日(月)

ファクス送信先 (一社) 青森県薬剤師会 FAX 017-743-4452

健康サポート薬局研修
健康サポートのための多職種連携研修会【研修会A】
次 第

日時：平成30年7月22日（日）9:00～18:20

場所：青森県立保健大学 教育研究A棟 A112 中講義室

主催：一般社団法人 青森県薬剤師会

共催：公益社団法人 日本薬剤師会

開会挨拶（9:00～9:10）

青森県薬剤師会 会長 木村 隆次

1. 健康サポート薬局の基本理念

（1）健康サポート薬局の基本理念（9:10～9:30【20分】）

日本薬剤師会 会長 山本 信夫（DVD 講義）

（2）健康サポート薬局の理念

～地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師（9:30～9:50【20分】）

青森県薬剤師会 会長 木村 隆次

2. 当該地域の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源と役割の現状

（1）青森県における健康課題と健康増進施策、健康サポート薬局への期待（9:50～10:20【30分】）

青森県健康福祉部医療薬務課薬務指導グループ 主幹 三浦 拓 氏

青森県健康福祉部がん・生活習慣病対策課健やか力推進グループ 主幹 青木 範子 氏

（2）他職種等の取り組みについて

1）行政と連動した地域の取組み（10:20～10:40【20分】）

弘前大学医学部社会医学講座 特任教授 中路 重之 氏

2）健康づくりの取組み～市町村保健活動への支援を中心に～（10:40～11:00【20分】）

青森県国民健康保険団体連合会保健活動推進専門員 澤谷 悦子 氏

（3）青森県の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源について（11:00～11:10【10分】）

青森県薬剤師会 会長 木村 隆次

3. 演習（11:20～13:50【115分】）

健康サポート薬局のあるべき姿や、地域包括ケアシステムの中で健康サポート薬局としての役割を
発揮するための各職種・機関との連携に関する演習

演習進行：青森県薬剤師会 副会長 青柳 伸一

（1）健康サポート薬局とは（11:20～11:35 15分）

（昼 食 11:35～12:10）

（2）ケーススタディ（12:10～13:30 80分） ①グループ討議 50分 ②発表（全体）30分

（3）演習のまとめ（13:30～13:50 20分） ①作業 15分 ②発表（全体）5分

4. まとめ（13:50～13:55【5分】）

青森県薬剤師会 副会長 青柳 伸一

健康サポートのための薬剤師の対応研修会【研修会B】

次 第

薬局利用者の状態把握研修の説明（14:00～14:10【10分】） 青森県薬剤師会 副会長 磯木 雄之輔
研修の目的、SGDのメンバー・リーダーについて、レポート提出について

1. 薬局・薬剤師を巡る現状と健康サポート薬局（14:10～14:30【20分】）

青森県薬剤師会 会長 木村 隆次

2. 薬局利用者の状態把握と対応（演習）（14:30～18:05【215分】）

題材：頭痛

講義、グループワーク、ロールプレイ等を通じ、薬局利用者の相談内容から適切に情報を収集し、状態、状況を把握し、それに合わせた適切な対応を行う力を身につけます。

講師：昭和大学薬学部薬理学講座 医科薬理部門

教授 木内 祐二 先生（DVD 講義）

演習進行：青森県薬剤師会 副会長 磯木 雄之輔

3. まとめ（18:05～18:10【5分】）

青森県薬剤師会 副会長 磯木 雄之輔

4. レポート作成（18:10～18:20【10分】）